

【参考資料】

可児市の現在の取り組み

当市では、以下のような障がいのある人へのさまざまな配慮を行っています。各部署でこのような配慮が広がっていくように努めていきます。

▼ 補助犬ステッカーの貼付（平成 29 年 4 月）

身体障害者補助犬の啓発・周知のため、市庁舎、公民館などの公共施設に補助犬ステッカーを貼付しました。



▼ 相談窓口の設置（平成 28 年 4 月設置）

福祉支援課に相談窓口を設置しました。関係各課と連携した対応を行うとともに、必要に応じ充実を図るよう努めます。



▼ 筆談用磁気ボードの設置（平成 28 年 4 月設置）

耳が不自由な方とスムーズな対応ができるよう、各課窓口にて筆談用磁気ボードを設置しています。



▼ インターホンの設置（平成 28 年 3 月設置）

庁舎正面玄関、東玄関のスロープ付近に、福祉支援課職員、日直職員と連絡ができるインターホンを設置しました。移乗や乗降、車いすでの移動に介助が必要な方が職員を呼び出すことができます。



▼ 耳マークの設置

庁舎案内、福祉支援課等の窓口に耳マークのサインを設置して 耳が不自由な方に筆談により対応できることを案内しています。また、福祉支援課では耳マークのシール及びカードを配布しています。



▼ 手話通訳の設置

耳が不自由で手話でコミュニケーションを行える方が来庁されたときに、各種手続きや相談などの便宜を図るため、福祉支援課に手話通訳を設置しています。

▼ 点字による案内

市内公共施設において、目が不自由な方のために点字による案内をしています。

▼ 広報紙等の音訳

目の不自由な方への情報提供のため、「広報かに」及び「議会だより」の音訳広報を、福祉支援課窓口及び図書館に設置しています。

▼ TellMeCast（音声コード作成ソフト）

福祉支援課にて選挙公報の音声コードを作成するなど、目の不自由な方に個別に音声情報を提供しています。 ※読み取り機は福祉センター設置しています。

▼ 可児市ホームページの読み上げ機能

高齢の方や目の不自由な方をはじめ、どなたでも簡単、便利にホームページをご利用いただけるよう、音声で情報をご案内する「音声読み上げ機能」が利用できます。

障害福祉サービス等の対象となる難病

障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスの提供においては、以下の表に示した難病332疾患が対象となっています。

■ 障害福祉サービス等の対象となる難病一覧（332 疾病）

※平成27年7月現在

1	アイカルディ症候群	31	ウォルフラム症候群	61	完全大血管転位症
2	アイザックス症候群	32	ウルリッヒ病	62	眼皮膚白皮症
3	I g A腎症	33	HTLV-1 関連脊髄症	63	偽性副甲状腺機能低下症
4	I g G 4 関連疾患	34	A T R-X 症候群	64	ギャロウェイ・モフト症候群
5	亜急性硬化性全脳炎	35	A D H 分泌異常症	65	急性壊死性脳症
6	アジソン病	36	エーラス・ダンロス症候群	66	急性網膜壊死
7	アッシャー症候群	37	エプスタイン症候群	67	球脊髄性筋萎縮症
8	アトピー性脊髄炎	38	エプスタイン病	68	急速進行性糸球体腎炎
9	アペール症候群	39	エマヌエル症候群	69	強直性脊椎炎
10	アミロイドーシス	40	遠位型ミオパチー	70	強皮症
11	アラジール症候群	41	円錐角膜	71	巨細胞性動脈炎
12	有馬症候群	42	黄色靭帯骨化症	72	巨大静脈奇形（頸部口腔咽頭びまん性病変）
13	アルポート症候群	43	黄斑ジストロフィー	73	巨大動静脈奇形（頸部顔面又は四肢病変）
14	アレキササンダー病	44	大田原症候群	74	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症
15	アンジェルマン症候群	45	オクシピタル・ホーン症候群	75	巨大リンパ管奇形（頸部顔面病変）
16	アントレー・ビクスラー症候群	46	オスラー病	76	筋萎縮性側索硬化症
17	イソ吉草酸血症	47	カーニー複合	77	筋型糖原病
18	一次性ネフローゼ症候群	48	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	78	筋ジストロフィー
19	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	49	潰瘍性大腸炎	79	クッシング病
20	l p 36 欠失症候群	50	下垂体前葉機能低下症	80	クリオピリン関連周期熱症候群
21	遺伝性ジストニア	51	家族性地中海熱	81	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群
22	遺伝性周期性四肢麻痺	52	家族性良性慢性天疱瘡	82	クルーズン症候群
23	遺伝性膝炎	53	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	83	グルコーストランスポーター1欠損症
24	遺伝性鉄芽球性貧血	54	歌舞伎症候群	84	グルタル酸血症1型
25	VATER 症候群	55	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	85	グルタル酸血症2型
26	ウィーバー症候群	56	加齢黄斑変性	86	クロウ・深瀬症候群
27	ウィリアムズ症候群	57	肝型糖原病	87	クローン病
28	ウィルソン病	58	間質性膀胱炎（ハンナ型）	88	クロンカイト・カナダ症候群
29	ウエスト症候群	59	環状20番染色体症候群	89	痙攣重積型（二相性）急性脳症
30	ウェルナー症候群	60	関節リウマチ	90	結節性硬化症

91	結節性多発動脈炎	125	混合性結合組織病	159	スタージ・ウェーバー症候群
92	血栓性血小板減少性紫斑病	126	鰓耳腎症候群	160	ステーヴンス・ジョンソン症候群
93	限局性皮質異形成	127	再生不良性貧血	161	スミス・マギニス症候群
94	原発性局所多汗症	128	サイトメガロウイルス角膜内膜炎	162	スモン
95	原発性硬化性胆管炎	129	再発性多発軟骨炎	163	脆弱 X 症候群
96	原発性高脂血症	130	左心低形成症候群	164	脆弱 X 症候群関連疾患
97	原発性側索硬化症	131	サルコイドーシス	165	正常圧水頭症
98	原発性胆汁性肝硬変	132	三尖弁閉鎖症	166	成人スチル病
99	原発性免疫不全症候群	133	CFC 症候群	167	成長ホルモン分泌亢進症
100	顕微鏡の大腸炎	134	シェーグレン症候群	168	脊髄空洞症
101	顕微鏡的多発血管炎	135	色素性乾皮症	169	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)
102	高 Ig D 症候群	136	自己貪食空胞性ミオパチー	170	脊髄髄膜瘤
103	好酸球性消化管疾患	137	自己免疫性肝炎	171	脊髄性筋萎縮症
104	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	138	自己免疫性出血病 XIII	172	全身型若年性特発性関節炎
105	好酸球性副鼻腔炎	139	自己免疫性溶血性貧血	173	全身性エリテマトーデス
106	抗糸球体基底膜腎炎	140	シトステロール血症	174	先天性横隔膜ヘルニア
107	後縦靭帯骨化症	141	紫斑病性腎炎	175	先天性核上性球麻痺
108	甲状腺ホルモン不応症	142	脂肪萎縮症	176	先天性魚鱗癬
109	拘束型心筋症	143	若年性肺気腫	177	先天性筋無力症候群
110	高チロシン血症 1 型	144	シャルコー・マリー・トゥース病	178	先天性腎性尿崩症
111	高チロシン血症 2 型	145	重症筋無力症	179	先天性赤血球形成異常性貧血
112	高チロシン血症 3 型	146	修正大血管転位症	180	先天性大脳白質形成不全症
113	後天性赤芽球癆	147	シュワルツ・ヤンペル症候群	181	先天性風疹症候群
114	広範脊柱管狭窄症	148	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	182	先天性副腎低形成症
115	抗リン脂質抗体症候群	149	神経細胞移動異常症	183	先天性副腎皮質酵素欠損症
116	コケイン症候群	150	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	184	先天性ミオパチー
117	コステロ症候群	151	神経線維腫症	185	先天性無痛無汗症
118	骨形成不全症	152	神経フェリチン症	186	先天性葉酸吸収不全
119	骨髄異形成症候群	153	神経有棘赤血球症	187	前頭側頭葉変性症
120	骨髄線維症	154	進行性核上性麻痺	188	早期ミオクロニー脳症
121	ゴナドトロピン分泌亢進症	155	進行性骨化性線維異形成症	189	総動脈幹遺残症
122	5p 欠失症候群	156	進行性多巣性白質脳症	190	総排泄腔遺残
123	コフィン・シリズ症候群	157	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	191	総排泄腔外反症
124	コフィン・ローリー症候群	158	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	192	ソトス症候群

193	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	224	特発性大腿骨頭壊死症	255	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症
194	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	225	特発性門脈圧亢進症	256	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症
195	大脳皮質基底核変性症	226	特発性両側性感音難聴	257	ビッカースタッフ脳幹脳炎
196	ダウン症候群	227	突発性難聴	258	非典型溶血性尿毒症症候群
197	高安動脈炎	228	ドラベ症候群	259	非特異性多発性小腸潰瘍症
198	多系統萎縮症	229	中條・西村症候群	260	皮膚筋炎/多発性筋炎
199	タナトフォリック骨異形成症	230	那須・ハコラ病	261	びまん性汎細気管支炎
200	多発血管炎性肉芽腫症	231	軟骨無形成症	262	肥満低換気症候群
201	多発性硬化症/視神経脊髄炎	232	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	263	表皮水疱症
202	多発性嚢胞腎	233	22q11.2欠失症候群	264	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸型)
203	多脾症候群	234	乳幼児肝巨大血管腫	265	ファイファー症候群
204	タンジール病	235	尿素サイクル異常症	266	ファロー四徴症
205	単心室症	236	ヌーナン症候群	267	ファンコニ貧血
206	弾性線維性仮性黄色腫	237	脳髄黄色腫症	268	封入体筋炎
207	短腸症候群	238	脳表ヘモジデリン沈着症	269	フェニルケトン尿症
208	胆道閉鎖症	239	膿疱性乾癬	270	複合カルボキシラーゼ欠損症
209	遅発性内リンパ水腫	240	嚢胞性線維症	271	副甲状腺機能低下症
210	チャージ症候群	241	パーキンソン病	272	副腎白質ジストロフィー
211	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	242	バージャー病	273	副腎皮質刺激ホルモン不応症
212	中毒性表皮壊死症	243	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	274	ブラウ症候群
213	腸管神経節細胞僅少症	244	肺動脈性肺高血圧症	275	プラダー・ウィリ症候群
214	TSH分泌亢進症	245	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	276	プリオン病
215	TNF受容体関連周期性症候群	246	肺胞低換気症候群	277	プロピオン酸血症
216	低ホスファターゼ症	247	バッド・キアリ症候群	278	PRL分泌亢進症(高プロラクチン血症)
217	天疱瘡	248	ハンチントン病	279	閉塞性細気管支炎
218	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	249	汎発性特発性骨増殖症	280	ベーチェット病
219	特発性拡張型心筋症	250	PCDH19関連症候群	281	ベスレムミオパチー
220	特発性間質性肺炎	251	肥厚性皮膚骨膜炎	282	ヘパリン起因性血小板減少症
221	特発性基底核石灰化症	252	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	283	ヘモクロマトーシス
222	特発性血小板減少性紫斑病	253	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	284	ペリー症候群
223	特発性後天性全身性無汗症	254	肥大型心筋症	285	ペルーシド角膜辺縁変性症

286	ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）	302	無 β リポタンパク血症	318	ランドウ・クレフナー症候群
287	片側巨脳症	303	メープルシロップ尿症	319	リジン尿性蛋白不耐症
288	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	304	メチルマロン酸血症	320	両側性小耳症・外耳道閉鎖症
289	発作性夜間ヘモグロビン尿症	305	メビウス症候群	321	両大血管右室起始症
290	ポルフィリン症	306	メンケス病	322	リンパ管腫症/ゴーハム病
291	マリネスコ・シェーグレン症候群	307	網膜色素変性症	323	リンパ脈管筋腫症
292	マルファン症候群	308	もやもや病	324	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）
293	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多単性運動ニューロパチー	309	モワット・ウイルソン症候群	325	ルビンシュタイン・テイビ症候群
294	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	310	薬剤性過敏症症候群	326	レーベル遺伝性視神経症
295	慢性再発性多発性骨髄炎	311	ヤング・シンプソン症候群	327	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症
296	慢性膵炎	312	優性遺伝形式をとる遺伝性難聴	328	劣性遺伝形式をとる遺伝性難聴
297	慢性特発性偽性腸閉塞症	313	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	329	レット症候群
298	ミオクロニー欠神てんかん	314	4p欠失症候群	330	レノックス・ガストー症候群
299	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	315	ライソゾーム病	331	ロスマンド・トムソン症候群
300	ミトコンドリア病	316	ラスムッセン脳炎	332	肋骨異常を伴う先天性側弯症
301	無脾症候群	317	ランゲルハンス細胞組織球症		

障がい者に関するマーク

マーク	名称	マークの意味	関連団体
	身体障がい者 標識 (障がい者マ ーク)	肢体不自由であることを理由に免許に条件を付されている運転者が、運転する場合には表示するマークです。この場合、ほかの自動車の運転者は、マークを表示した車に対する幅寄せや割り込みが禁止されています。	各警察署交通課 県交通安全協会
	聴覚障がい者 標識 (聴覚障がい 者マーク)	法令で定める程度の聴覚障がい者であることを理由に免許に条件を付されている運転者が、運転する場合には表示するマークです。この場合、ほかの自動車の運転者は、マークを表示した車に対する幅寄せや割り込みが禁止されています。	各警察署交通課 県交通安全協会
	障害者のための 国際シンボ ルマーク	障がいを持つ人々が利用できる建築物、施設であることを示す世界共通のシンボルマークです。建物の規定などのマークの使用については、国際リハビリテーション協会の「使用指針」により定められています。 ※このマークは、全ての障がい者を対象としています。 ※個人の車に表示することは、シンボルマーク本来の趣旨とは異なりますので、障がいのある方が乗車していることを周囲に知らせる程度のもことになります。道路交通法上の規制を免除されるなどの効力は発生しません。	(公財)日本障害 者リハビリテー ション協会
	盲人のための 国際シンボ ルマーク	視覚障がいを示す世界共通のシンボルマークです。視覚障がい者の安全やバリアフリーに考慮された建物、設備、機器などにつけられるマークです。信号、音声案内装置、国際点字郵便物、書籍などに使用されています。	社会福祉法人 日本盲人福祉委 員会
	耳マーク	このマークは「耳が不自由です」という自己表示が必要ということで作成されたものです。この矢印は、聞こえない・聞こえにくい全ての人々にとっての聞こえの向上、保障を求めていく積極的な生き方の象徴です。 このマークを付けた方と話すときは、「はっきり口元を見せて話す」「筆談をする」などご協力をお願いします。	(一社)全日本難 聴者・中途失聴 者団体連合会

	<p>ほじょ犬マーク</p>	<p>身体障害者補助犬(盲導犬、聴導犬、介助犬)同伴啓発のためのマークです。</p> <p>平成14年に「身体障害者補助犬法」が施行され、現在では公共の施設や交通機関、デパートなど民間施設でも身体障害者補助犬が、同伴できるようになりました。</p> <p>補助犬はペットではありません。体の不自由な方の体の一部となって働いています。社会のマナーもきちんと訓練されていますし、衛生面でもきちんと管理されています。</p> <p>補助犬を連れていての方を見かけた場合は、ご理解・ご協力をお願い致します。</p>	<p>厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課自立支援振興室</p>
	<p>オストメイトマーク</p>	<p>人工肛門・人工膀胱の方たち(オストメイト)のための施設があることを表しています。</p> <p>オストメイト対応のトイレの入り口・案内誘導プレートに表示されています。</p>	<p>(公社)日本オストミー協会</p>
	<p>ハート・プラスマーク</p>	<p>このマークは身体内部に障害がある人を表すマークです。</p> <p>内部障害の方は外見からわかりにくいため、様々な誤解を受けることがあります。このマークを目にしたら、身体内部に障害がある方がいることをご理解いただき、ご協力をお願い致します。</p>	<p>内部障害者・内部疾患者の暮らしについて考えるハート・プラスの会</p>
	<p>障害者雇用支援マーク</p>	<p>公益財団法人ソーシャルサービス協会が障がい者の在宅障がい者就労支援並びに障がい者就労支援を認めた企業、団体に対して付与する認証マークです。</p> <p>障がい者の社会参加を理念に、障がい者雇用を促進している企業や障がい者雇用を促進したいという思いを持っている企業は少なくありません。</p> <p>そういった企業がどこにあるのか、障がい者で就労を希望する方々に少しでもわかりやすくなれば、障がい者の就労を取り巻く環境もより整備されるのではないかと考えます。</p> <p>障がい者雇用支援マークが企業側と障がい者の橋渡しになればと考えております。御協力のほど、宜しく申し上げます。</p>	<p>公益財団法人ソーシャルサービス協会 ITセンター</p>
	<p>白杖 SOS シグナル普及啓発シンボルマーク</p>	<p>視覚に障がいのある方が、外出先で困ったことがあった場合などに、白杖を頭上50cm程度に掲げて周囲の方にサポートを求める「白杖 SOS シグナル」の普及啓発を図るためのシンボルマークです。</p> <p>このような視覚に障がいのある方を見かけたら、すすんで声をかけ、困っていることを聞き、必要なサポートをしましょう。</p>	<p>岐阜市 (岐阜市視覚障害者福祉協会)</p>